

偏見や差別、誹謗中傷のない佐賀県へ

～ハンセン病差別への^{しよくざい}贖罪と学びを次世代へつなぐ～

きくちけいふうえん

4月24日(月) 菊池恵楓園をやっと訪問できました



希望の鐘



たいじ いれいひ
胎児慰霊碑



(佐賀県出身の
増本昇さん)

(菊池恵楓園入所者
自治会 志村康会長)

佐賀県出身の入所者の方と



献花

平成28年1月19日 最初の訪問



平成29年3月27日 希望の鐘 除幕式



平成29年10月4日
100歳を迎える方の長寿のお祝い



他に里帰り事業、交流事業にも取り組んでいます

ハンセン病に係る偏見や差別は今も解消されていません！

国は、**偏見や差別の現状を把握**するため

全国的な意識調査を今年度、**初めて実施**。

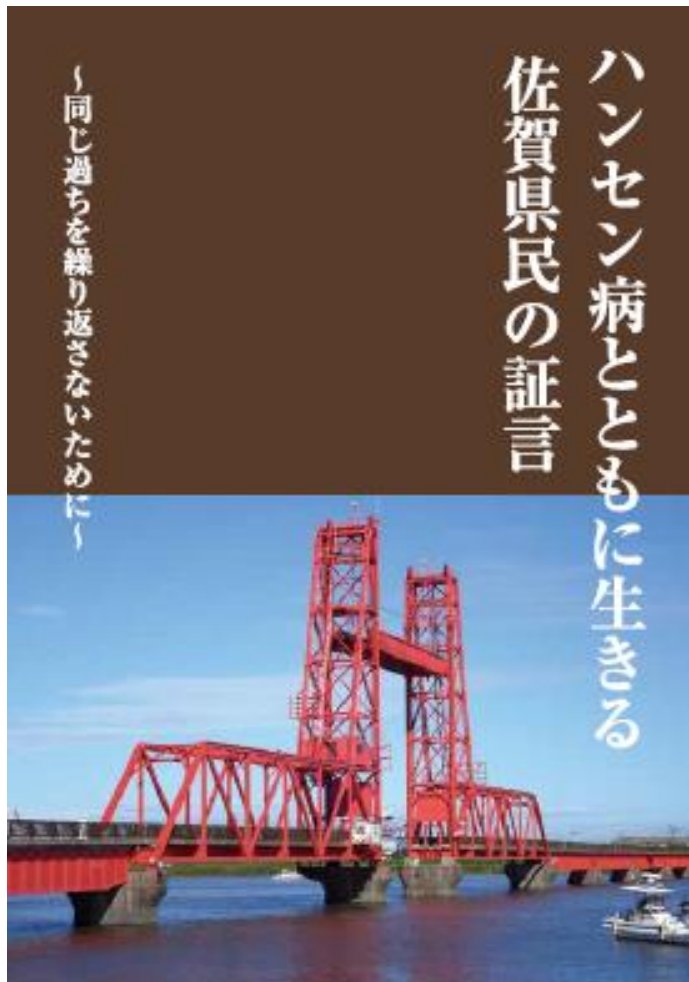


今でも**偏見や差別**に
苦しんでいる人がいます



調査結果を、**偏見や差別の解消**に活かしてほしい

過去に学び、二度と同じ過ちを繰り返さない！ この思いを共有するため啓発冊子を作成しました



県ホームページ
で公開中



志村さんの半生を振り返りながら、志村さん自身の言葉で誤った認識や偏見による差別の残酷さを伝えています



しむら やすし
志村 康さん 90歳(令和5/2023年現在)

菊池恵楓園入所者自治会会長。ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会会長を務めるかたわら、ハンセン病問題の教育普及に尽力されている。



判決の前日、恵楓園にある納骨堂前に集まる志村さんら原告
平成13(2001)年5月10日撮影



控訴反対を訴える全患協
平成13(2001)年5月11日撮影



判決後、志村さん達、最初の原告13人に全療協から贈られた正義の女神像

県出身者2名(故人)「入江信(いりえしん)さん」と「津田治子(つだはるこ)さん」の活躍もご紹介

県民の皆さま、是非ご一読ください

過去を風化させない！ 同じ過ちを繰り返さない！
佐賀県は人を大切にする県であり続けます



お問い合わせ先

佐賀県 県民環境部 人権同和・対策課
TEL : 0952-25-7063 FAX : 0952-25-7332
MAIL : jinken-douwataisaku@pref.saga.lg.jp